

平成22年度事務事業実績及び前期4年間取組評価表

事務事業名	天龍峡活性化事業	会計	一般会計	事業No.	470	施策順No.	11-043	
		事業種別	政策・重点	予算科目	7-1-4-14-6			
政策	1 多様な産業が発展できる経済力の強いまちづくり			課等名	観光課			
施策	11 事業者自らが実施するパワーアップ活動			事業期間	開始	19	終了	27

1 事業の目的

事業の目的は「対象」を「意図」した状態にすることです	対象	天龍峡の観光客						A十分達成した Bどちらかといえば達成した Cどちらかといえばできていない Dほとんど達成できていない	
	誰、何に	天龍峡の観光客・人	19年度	20年度	21年度	22年度	23年度		
	意図	より長時間多く滞在してもらう							
	対象をどう変えるか	天龍峡の観光客数観光消費額 (天龍峡の宿泊施設及び土産店の売上合計)・千円	19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度目標	22年度実績		23年度目標
			162400	174500	179600	178700	180000		B
22年度の目標達成度に対する振り返り【政策的事業のみ評価】		「天龍峡百年再生」をテーマにした住民と行政の役割・取り組みを明確にする各種計画の策定が完了した。天龍峡観光の核となる「ご案内人制度」も定着しつつあり、件数・利用者も増加している。天龍峡再生・活性化に向けた地元意識も高まっている。							

2 手段(具体的な取り組み内容)

事業の制度(仕組み)説明	「天龍峡再生プログラム・プロジェクト」を策定し、計画に位置付けられた事業への取り組みや支援を行うことにより、天龍峡の活性化を図り賑わいを再び取り戻す。また、文化財の適切な保護を目指し策定した「名勝天龍峡保存管理計画・整備計画」に記載した整備事業を実施していくことにより、「名勝天龍峡」が持つ文化財としての優れた価値を顕在化し、適切な保存管理により次世代へ確実な継承を図る。		
	事業内容	名称	活動量・単位
22年度事業内容	1 名勝天龍峡保存管理計画・整備計画の策定	1 策定計画数	1 2計画
	2 天龍峡ご案内人制度業務の委託	2 利用人数	2 4,000人
23年度実施計画	3 天龍峡交流施設活用事業支援業務の委託	3 実施数	3 一式
	4 天龍峡再生・活性化を目指した地域関係団体等の行う取り組みへの支援	4 実施数	4 一式
	5 天龍峡観光用施設の維持管理等	5 施設・箇所数	5 3箇所
	1 天龍峡ご案内人制度業務の委託	1 利用人数実施数	1 4,000人
	2 天龍峡百年再生構想及び名勝天龍峡の適切な保護計画の周知	2 実施数利用人数	2 1式
	3 天龍峡観光の広報・周知	3 実施数	3 1式
	4 名勝天龍峡整備計画掲載事業の調査・計画	4 実施数	4 1式
	5 ふるさと雇用再生事業による、交流施設活用事業支援業務の委託	5 実施数	5 1式
	6 天龍峡再生に向けた地元関係団体によるイベントへの支援	6 実施数	6 1式
	7 天龍峡観光施設管理	7 施設・箇所数	7 2カ所

3 事業コスト

事業費	特定財源	国庫支出金	22年度予算額	22年度決算額	23年度予算額	特定財源内訳、補足事項 (県)ふるさと雇用再生特別事業補助金 4,000千円(10/10) (そ)ふるさと寄附金 185千円
	一般財源	県支出金	4,000	4,000	4,000	
		起債				
		その他	0	185	0	
		計 (A)	11,649	11,055	7,391	
正規職員所要時間			1,300			
臨時職員等所要時間						
人件費計 (B)			4,649			
トータルコスト A+B			15,649	15,240	11,391	

4 事業に対する市民や議会の意見

「天龍峡再生プログラム・プロジェクト」、「名勝天龍峡保存管理計画」及び「名勝天龍峡整備計画」の計画的な実施が求められている。かつての賑やかな観光地再生へ向けた観光振興施策が期待されている。
--

5 行財政改革の取組内容【経常的事業のみ評価】

行財政改革の取組区分	【記載不要】	具体的な取組事項	【政策的事業のため記載不要】
21年度決算と比べての効果額(千円)	【記載不要】	効果額説明(算出根拠)、特殊要因	【政策的事業のため記載不要】

6 前期4年間の取組評価(総括)

上位の施策への結びつき	上位施策の目的	事業者等が出荷額等を高める活動をする	施策の成果指標又はムトス指標	観光消費額(億円) 経済自立度(%)
この事務事業は施策の目的達成にどのよう に貢献しましたか	4年間の振り返り	かつての天龍峡にあった賑わいを取り戻すため、天龍峡の個性を復活させる住民と行政のアクションプランを策定し、施策の目的達成に向けたそれぞれの具体的な取り組みを明らかにした。アクションプランに基づいた「ご案内人制度」等の取り組みが開始し、ご案内する地元の動きも活発化している。		
	後期に向けた課題	策定したアクションプランに基づき調査研究を進め、地元と協調しながら適切、かつ計画的に事業を推進していく必要がある。		
この事務事業の成果を向上させるためにどのような工夫を してきましたか	4年間の振り返り	地域に定着し継続的な取り組みとなるよう、地域住民を主役とし地域生活に深く関わった取り組み等を推進・支援した。		
	後期に向けた課題	アクションプランに基づいた各々の取り組みを統一していくこと、観光窓口の一元化や推進体制していくことについて調査研究、検討していく必要がある。		
コストを削減するためにどのような工夫を してきましたか	4年間の振り返り	導入可能な補助制度(ふるさと雇用再生事業等)により、天龍峡再生・活性化に向けた取り組みを支援する事業のコスト削減を図った。		
	後期に向けた課題	国等補助制度の動向を注視し、導入可能な補助制度を随時検討していく必要がある。		
受益者負担の程度、市が関与する程度は適切 でしたか	4年間の振り返り	「天龍峡再生プログラム・プロジェクト」、「名勝天龍峡整備計画」に記された行政の役割を果たすため、市の関与する程度は適切である。		
	後期に向けた課題	「天龍峡再生プログラム・プロジェクト」、「名勝天龍峡整備計画」に記された行政の役割を果たすため、今後についても市の関与する程度は適切である。		
多様な主体の役割の発揮状況 ①その主体は誰で、どのような役割を果 たしましたか。 ②その主体が役割を 発揮するために、行政はどのような働き かけをしましたか、又は、配慮してき ましたか	4年間の振り返り	①主体は地域住民及び観光協会をはじめとする天龍峡のまちづくりに関係する団体であり、計画立案から実行の全般に及ぶ。 ②計画立案段階から地域住民や関係団体に関与してもらった働きかけを行った。		
	後期に向けた課題	天龍峡のまちづくりということから、主体は地域住民や関係する団体で良いが、複数の団体等で各々が活動に取り組んでいる現状を見直し、体制や窓口の一元化を検討していく必要がある。		
全体を通じて	4年間の振り返り	天龍峡再生・活性化への計画作りが整い、着手できる事業から市民・行政がそれぞれの役割分担により取り組み始めている。		
	後期に向けた課題	地域全体に策定した計画を浸透させていくこと、効果的な取り組みが展開できるよう推進体制の見直しや観光窓口の一元化を検討していく必要がある。		

7 「対象」「意図」「結果」の関係の確認

事務事業を統合・分割する必要はありますか	ない	対象や意図を修正する必要はありますか	ない	成果指標や指標値を修正する必要はありますか	ない
----------------------	----	--------------------	----	-----------------------	----

8 総合評価・次年度の事業の方向性改善の計画

<input type="checkbox"/> 完了	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 別事業に統合	<input type="checkbox"/> 休止廃止	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 目的見直し	<input type="checkbox"/> 事業のやり方改善
-----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	---------------------------------	-------------------------------	--	--------------------------------	-----------------------------------